

# 生坂村上下水道事業検討プロジェクト会議及び

## 上下水道運営委員会合同会議要旨

1. 日 時 平成 31 年 2 月 5 日（火）午後 1 時 30 分から
2. 場 所 生坂村役場 第 3 会議室
3. 出席者 上下水道事業検討プロジェクト会議委員  
望月典子・太田譲・一ノ瀬貞男・字引文威  
瀧澤龍一・平田勝章・吉澤弘迪・市川寿明（村議会議員）  
上下水道運営委員  
降幡亨・高野茂吉・藤澤博文・牛澤行雄・竹内勇・山本節夫  
（給水区域区長）  
藤澤泰彦（村長）松沢昌志（振興課長）眞島弘光（建設係長）  
小山淳也（建設係主事）

### 4. 議 事

（1）平成 30 年度簡易水道事業の運営状況及び平成 31 年度簡易水道事業の運営について

#### 説明内容

平成 30 年 12 月現在の給水人口は 1,641 名で、年間の給水量は 137,934 t である。また、安曇野市・大町市からの分水料金は総額で約 19,366 千円となる見込み。なお、有収率は 61.2% で昨年とほぼ同等である。近年では水道管の破裂が多発した年となり、有収率が低水準のままとなっている。

平成 31 年度については、配水池の不断水清掃点検事業を予定している。

水質検査の結果は毎月 1 回村内 2 箇所にて採水し検査を実施しているが、いずれも異常は見られず水道法の水質基準に適合している。

#### 委員からの質問意見

○水道施設の維持管理について、小規模の自治体に対して手厚い補助をしてもらえるよう国・県に働きかけなければならない。

（2）平成 30 年度下水道事業の運営状況及び平成 31 年度下水道事業の運営について

#### 説明内容

平成 30 年 12 月現在の水洗化率は村全体で 82.4%、農業集落排水地域が 90.0%、合併処理浄化槽地域が 74.6% である。農業集落排水地域は新規の接続があり昨年比+

0.2%、合併処理浄化槽地域については新設が3基あったが人口減少の影響により昨年比-0.4%である。

修繕については、農業集落排水処理施設において水中攪拌ポンプ取替工事、汚泥引抜ポンプ取替工事、中継ポンプ取替工事を実施。合併処理浄化槽は保守点検に併せてブロワーの修理を実施した。

平成31年度については、老朽化による故障のため、現在は代替機で運用中の非常通報装置の更新工事を予定している。

#### 委員からの質問意見

特になし

### (3) 簡易水道事業基本計画の見直しについて

#### 説明内容

漏水の多発による有収率の低下、地区水道の統合計画など様々な課題がある中、基本計画の見直しにあたり、新水源の調査と耐震化・老朽化対策のどちらを優先するのか、その方向性について協議を依頼。優先順位によっては基本計画の見直しに係るスケジュールが異なることを説明。

#### 委員からの質問意見

○水道広域化の見通しが立たず、有収率の低下が続く状況であるから漏水対策は進めていかなければならない。しかし、財源は限られているため、地区水道の統合と同時に実施するのは難しいのではないか。いくつかの工区に分けて実施するなど、財政に負担をかけないように進めてもらいたい。それを踏まえたうえで、将来の人口動向を見据えた基本計画を立てていくべきだ。

#### 決定事項

- ・耐震化・老朽化対策を優先し、基本計画の作成を進める。

### (4) 消費税増税に伴う上下水道料金について

#### 説明内容

増税が歳入歳出に与える影響について、平成30年度当初予算を基にシミュレーションした結果を説明。増税分を料金に上乗せした場合の月額料金を示し、近隣市町村の動向について説明した。

#### 委員からの質問意見

○現行の上下水道料金を維持するために一般会計から繰り入れていることに触れていない。料金収入のみで運営しているわけではないので、どのぐらい一般会計から

繰り入れているのか現実をしっかりと説明すべきだ。

→事務局から繰入金額について説明。

○人口減少が続いているが、村の財政状況は毎年少しずつ改善されている。行政の努力により料金は抑える方向にしてもらいたい。

#### 決定事項

- ・上下水道料金については内税のまま据え置きとする。